

## 7 平成19年度 横浜市立図書館の予算と目標

### (1) 予算

今年度も、市立図書館18館の効率的な運営に努めるとともに、図書館情報システムを活用した調査研究支援や情報発信など市民サービスの充実を図ります。

また、戸塚図書館の耐震補強工事について引き続き進めます。

【平成19年度 図書館の運営】 (単位：千円)

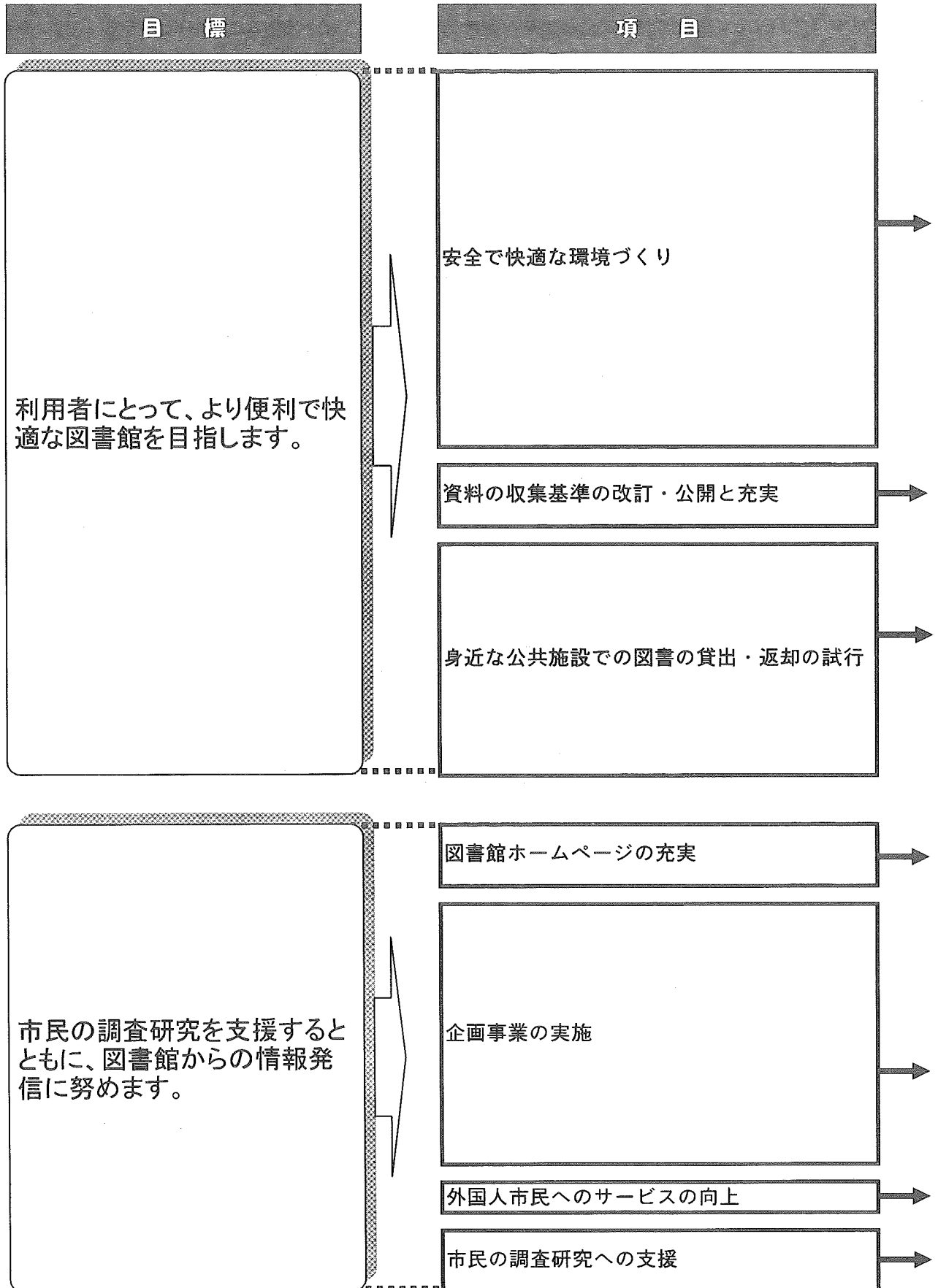
下段( )内は平成18年度予算額

中央図書館運営費 中央図書館の施設管理・運営、広報、研修等 図書館情報システムの運用	936,494 (843,650)
地域図書館運営費 地域図書館17館の施設管理・運営等	251,316 (246,543)
資料収集事業費 図書館資料の収集・整理 図書館資料を管理するための書誌データの作成等	315,961 (342,821)
中央図書館利用者サービス事業費等	109,361 (72,473)
中央図書館利用者サービス事業費 中央図書館における資料の貸出・閲覧等の利用者へのサービス事業	47,538 (50,990)
移動図書館事業費 移動図書館(はまかぜ号)の維持管理・運営等	2,570 (2,310)
障害者支援事業費 対面朗読、個別録音テープ吹込み等の障害者への支援事業	9,253 (9,173)
図書館施設営繕費	50,000 (10,000)
市立図書館のあり方検討事業費 学識経験者、市民代表などによる「横浜市立図書館のあり方懇談会」において、図書館サービスに関する意見の聴取、検討を行います。	335 (497)
図書取次サービス試行事業費 行政サービスコーナー等での図書館資料の貸出・返却について様々な課題を検証するため、3区でモデル的に試行。システム改修経費【青葉区連携事業】	5,767 (2,767)
地域図書館の耐震補強工事費 戸塚図書館(公会堂、地区センターとの複合施設)の耐震補強工事、E S C O事業、バリアフリー対応 金沢図書館：基本・実施設計、保土ヶ谷図書館：基本設計	176,529 (114,000)

(2) 平成19年度 横浜市立図書館の目標

この「目標」は、中央図書館と17の地域図書館が進める事業の内容と取組姿勢について取りま

**基本目標** 市民の課題解決や暮らしに役立つ情報を提供し、積極的な図書館



とめたものです。

## サービスを展開します。

### 具体的取組

- ①やさしい日本語の利用案内・各館案内を作成します。(全館、6月)
- ②地域図書館5館に、利用者が自由にインターネット情報を閲覧できる公共情報端末を設置します。(3月)
- ③ISO14001の取組を進めます。(全館、通年)
- ④市民の不要本をリサイクルする場(リサイクル文庫)を設置します。(一部の地域図書館で試行、通年)
- ⑤利用者のマナーが向上するように日頃から働きかけを行うと共に、キャンペーンを実施します。(全館、10月)
- ⑥中央図書館においてESCO事業実施に向けた準備を行います。(3月)
- ⑦館内レイアウトの見直しなど、より便利で使いやすい図書館となるよう工夫します。(中央図書館・一部の地域図書館、12月)
- ⑧戸塚図書館の耐震補強等再整備工事を完了します。(7月)
- 新**⑨金沢図書館・保土ヶ谷図書館を対象に再整備工事のための設計を行います。(3月)
- 新**⑩順次、各図書館にAED(自動体外式除細動器)を設置します。(12月)
- 新**⑪セキュリティ対策や緊急対応などの危機管理について、職員の意識の高揚と対応力の向上に努めます。(全館、通年)

- ①雑誌に関する収集基準を明確にし、図書館ホームページ等に公開します。(12月)
- ②継続して同一タイトルの雑誌の寄贈を受ける仕組みを検討し、蔵書の充実を図ります。(11月)

前年度に引き続き、利便性向上に向けて、行政サービスコーナーや地区センター、駅返却ポストなどでの図書の貸出・返却サービスを区役所と連携して試行的実施します。

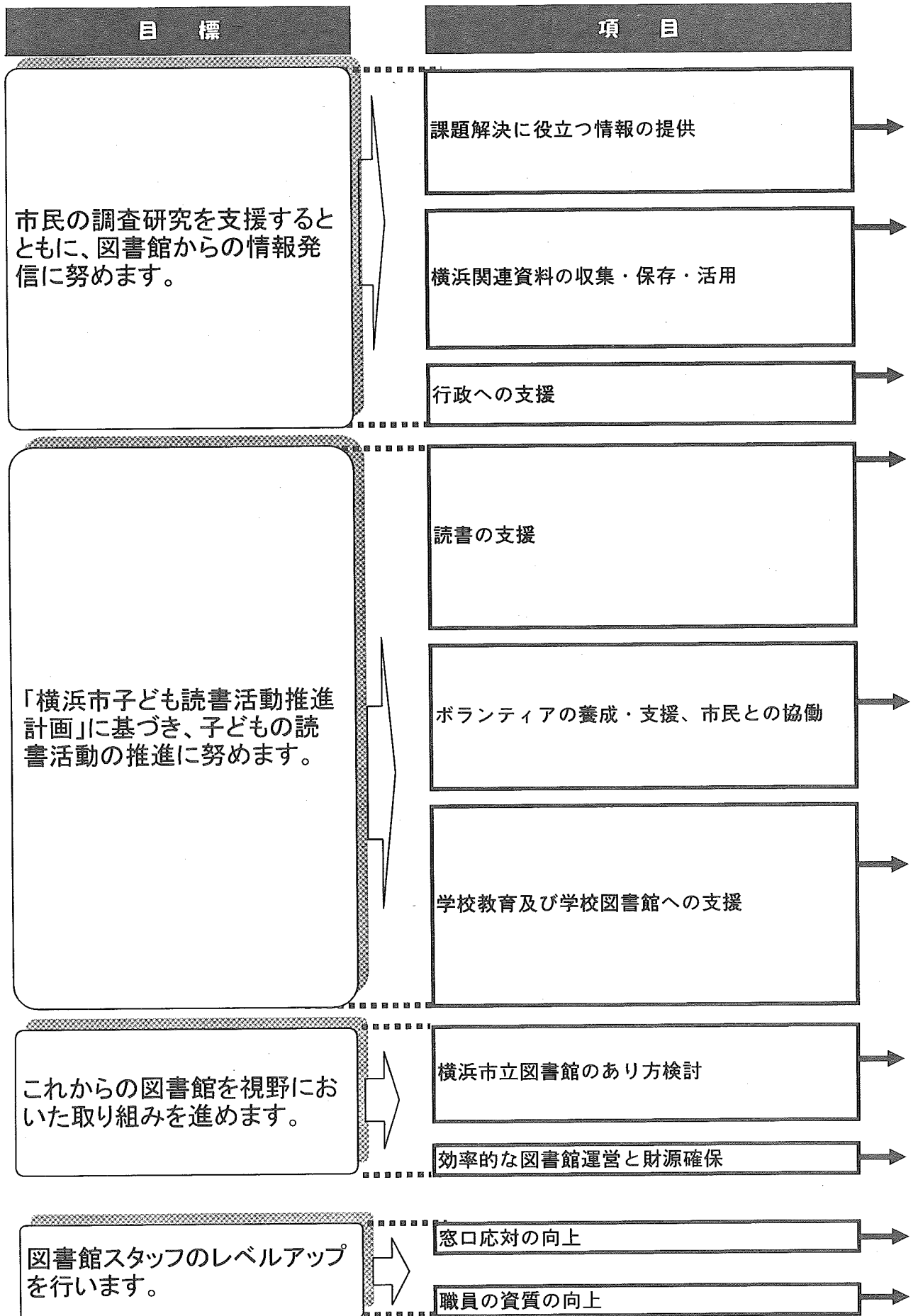
- ①旭区・二俣川駅、戸塚区・東戸塚駅の両行政サービスコーナーで図書取次サービスを実施します。(通年)
- 新**②青葉区の図書サービス拡充モデル事業の実施に協力し、奈良、藤が丘、若草台、大場みずが丘、美しが丘西の各地区センターと区民活動支援センター(田奈ステーション)で図書取次サービスを実施します。(10月)
- ③青葉区内の東急線・駅返却ポストについては、引き続き、市が尾駅、青葉台駅、たまプラーザ駅の3か所に設置します。(通年)
- 新**④緑区の長津田駅構内に返却ポストを設置します。(10月)

- ①コンテンツの充実などを通じて、図書館ホームページによる情報発信を積極的に行います。(通年)
- ②子どもホームページを開設します。(11月)

- ①図書館の機能や所蔵コレクションの紹介を目的に、中央図書館で見学会を開催します。(3月)
- ②開港150周年事業に向けた取組として、市民と連携して開港に関連したテーマの講座・展示を開催します。(中央図書館、5月、6月、12月、1月)
- ③市民を対象に初心者向けの情報検索講座を開催します。(中央図書館、12月)
- ④中央図書館1階展示フロアを活用し、地域情報や市政情報の展示・公開を行います。(12月)
- ⑤各図書館で教科書展示会を開催します。(6月～7月)
- ⑥図書館総合展に出展し、横浜市立図書館を積極的にPRします。(中央図書館、11月)
- ⑦中央図書館で市内の大学と連携した市民向け講座を開催します。(10月～11月)
- ⑧区役所等と連携し、郷土資料の展示会などを行います。(一部の地域図書館、12月)

ハングル・中国語の資料のパソコンによる検索を準備します。(中央図書館、12月)

- ①Eメールでのレファレンスを引き続き進めます。(中央図書館、通年)
- ②ホームページで公開しているレファレンス事例集をさらに充実させます。(中央図書館、通年)



(注)  
 ① ISO14001：企業や自治体などが行う事業活動が環境にあたえる影響を、組織的かつ継続的に削減するための管理システムを定めた国際規格のこと。  
 ② コンテンツ：データベースに蓄積されたデータや画像・音声データなどの内容・中身のこと。

## 具 体 的 取 組

- ①インターネット上の情報を積極的に収集し、使いやすい形にして提供します。(中央図書館、通年)
- ②目録やパスファインダーを作成、提供します。(中央図書館、通年)
- ③医療情報コーナー、ビジネス資料コーナー、外国語本コーナーの資料の充実に努めます。(中央図書館、通年)

- ①行政資料や郷土資料のほか地域情報の収集に努め、市民が必要とする情報を提供します。(全館、通年)
- ②市史資料室の中央図書館への移転を支援し、横浜の歴史に関する資料の一層の活用と利用者の利便性の向上を図ります。(1月)
- ③文化財課と連携し、郷土資料等の企画展示を4館で実施します。(年度内)

市政の業務遂行に必要な資料・情報を提供することで、行政サービス向上のための支援を行います。(中央図書館、通年)

- ①おはなし会や読み聞かせの講習等を通じて、保護者に子どもの読書や図書館利用を促します。(全館、通年)
- ②一部の館に設置されていた「ティーンズコーナー」を全館に設置し、10代の人たちの読書習慣の獲得・支援、社会参加につながる情報提供を行います。(通年)
- ③一部の地域図書館で福祉保健センターと連携して、乳幼児向けのおはなし会や資料配布を行います。(通年)

- ①読み聞かせ等ボランティア養成講座を8回実施します。(中央図書館・一部の地域図書館、12月)
- ②読み聞かせ等ボランティア交流会を5館で開催します。(中央図書館・一部の地域図書館、12月)
- ③ボランティアのための図書修理講座を実施します。(中央図書館、12月)
- ④市内の読み聞かせボランティアグループの研修会に司書を講師として派遣します。(中央図書館・一部の地域図書館、通年)

- ①児童・生徒の図書館見学や職業体験学習を受け入れ、内容の充実に努めます。(全館、通年)
- ②利用案内の配布などを行い、教職員向け貸出制度の普及に努めます。(全館、通年)
- ③学校図書館向けに新刊情報を提供する機会を設けます。(中央図書館、12月)
- ④児童書の図書リストを作成し、学校へ情報提供していきます。(中央図書館、12月)
- ⑤司書教諭等学校図書館担当者向けの研修に司書を派遣します。(中央図書館・一部の地域図書館、通年)
- ⑥司書が学校図書館支援センター事業協力校を訪問し、蔵書や運営に関する案内や助言を行います。(中央図書館、3月)

- ①学識経験者や市民代表を委員とする「横浜市立図書館のあり方懇談会」を開催し、市立図書館のあり方について検討します。(中央図書館、6月)
- ②「横浜市立図書館のあり方懇談会」での意見を参考に、今後の市立図書館のあり方について検討します。(中央図書館、12月)

管理運営経費の節減に努めるとともに、広告事業等により自主財源の確保を図ります。(通年)

利用者へのあいさつ・声かけを励行し、親切・ていねいな対応に努めます。(通年)

利用者の要望等に十分に答えられるよう専門研修を実施します。(通年)

- ③レファレンス：利用者の調べものや資料の相談などに対し、必要とする図書館資料の紹介や提供、情報入手の手助けを行うこと。
- ④パスファインダー：ある特定のトピックに関する資料や情報を収集する手順を簡便にまとめたもの。